

小学生版 4・5・6年生ブックリスト

# ビーだま



2014年 No.45

<編集・発行>

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7273

平成27年4月23日発行

(年2回発行)

2014年7月～12月に図書館に入った本の中から、  
とくにおすすめの本をしょうかいします。



## まほろ姫とブッキラ山の大テング

なかがわちひろ／作 偕成社



タヌキに育てられたまほろ姫は、頭に葉っぱをのせると  
思ったものに化けることができます。姫とタヌキの茶々丸<sup>ちやちやまる</sup>  
は、葉っぱをたくさん手に入れようとブッキラ山へと向か  
いました。

ブッキラ山に住む大テングは、タヌキたちに葉っぱを分  
けてくれる特別なそんざいです。ところがその大テングの  
長い鼻を見て茶々丸は大わらいしてしまい、石に変えられ  
てしまいます。

## ぼく、悪い子になっちゃった！

マーガレット・ピーターソン・ハディックス／作 堀川理万子／絵 渋谷弘子／訳  
さ・え・ら書房



デクスターは、おばあちゃんの家にはっこしてきました。転校した日から、新しい学校がきれいになり、むしゃくしゃして知らない男の子をたたいてしまいます。

けんかのことを作文に書くと、先生は、「どんな気持ちで」「だれをたたいたか」も書くように言いました。デクスターは、名前を知ろうと男の子をさがします。



## 落っこちた！

ザラー・ナオウラ／作 佐竹美保／絵 森川弘子／訳 岩波書店

ヘンリックの家族は、けんかもせず幸せにくらしていました。そこへとつぜん、おばあちゃんが老人ホームから帰ってきます。おばあちゃんは、家の庭に金ののべ棒<sup>ぼう</sup>がうめられているが場所は分からないという話をしました。

みんなは、われさきにあなをほり始めます。宝を見つけるまでは、家族でも信用できません。



## レモネード戦争

ジャクリーヌ・デイヴィーズ／作 小栗麗加／絵 日当陽子／訳 フレーベル館



ジェシーは、勉強がよくできたので、学年をとびこえて兄と同じ4年生になります。妹に追いつかれた兄のエヴァンは、おもしろくありません。

エヴァンは、ジェシーを見返そうとレモネード売り競争をもちかけます。どちらも相手に勝とうと、安く売ったりおまけをつけたりして工夫をこらしました。

## 星のこども

川島えつこ／著 はたこうしろう／絵 ポプラ社



学校ではいつも一人でいるゆいが、音楽祭の学年合唱でピアノのばんそう者に選ばれました。不安な気持ちのゆいは、学校にある小さな池にやってきます。

その池には河童<sup>かっぱ</sup>が住むといううわさがありました。見た人はいませんが、ねがいごとをするとかなえてくれるという伝説があったのです。



ちょうかいさん

## 鳥海山の空の上から

三輪裕子／著 佐藤真紀子／絵 小峰書店

夏休み、翔太<sup>しょうた</sup>は一人で電車を乗りついで、秋田県の波江<sup>なみえ</sup>おばさんを訪ねました。ふもとに建つ家からは、はくりよくある鳥海山をながめることができます。

ある日、波江おばさんが、鳥海山にある花畑を見たいと言いました。おばさんが重い病気をかかえていることを知った翔太は、いっしょに山に登る決心をします。



すずぎつねそうどうへんげのしろ

## 鈴狐騒動変化城

田中哲弥／作 伊野孝行／画 福音館書店



気立てがよく、美人のお鈴<sup>すず</sup>ちゃんは、もうすぐおよめに行くことになっていました。ところがその美しさを聞きつけた殿様<sup>とのさま</sup>が、横取りしようと城<sup>しろ</sup>へよびつけます。

悲しむお鈴ちゃんを助けようと、町のわかものたちが作戦をたてました。むすめのすがたに化けた狐を城に送りこみ、殿様をこらしめようというのです。

## 希望の海へ

マイケル・モーパーゴ／作 佐藤見果夢／訳 評論社



戦争で親をなくしたアーサーは、イギリスから遠くはなれたオーストラリアへと連れてこられます。いつかはふるさとへ帰ることをちかって大人になったものの、病<sup>やまい</sup>にたおれてしまいました。

むすめのアリーは、父の代わりにゆめをはたそうと、一人用のヨットでイギリスへ旅立ちます。



## わたしの心のなか

シャロン・M. ドレイパー／作 横山和江／訳 鈴木出版

脳性まひ<sup>のうせい</sup>のメロディは、体を自由に動かすことや話すことができません。心の中では、話したいことがたくさんあるのに、伝えられないことをずっともどかしく思っていました。

5年生になった時、メロディは感じたことを音声にできる機械と出会います。クラスメイトは、初めてメロディの気持ちやたくさんの知識を知りおどろきました。



## 月へ行きたい (ちしきのほん)

松岡徹／文・絵 福音館書店



遠い月までどうやって行こう？らせんかいだんを登っていけば100年、新幹線なら55日、いえいえロケットという方法があります。

この本では、ロケットのくわしい図や中での生活の様子を知ることができます。いつかは、うちゅうエレベーターで月に行ける日が来るかもしれませんね。

【 執筆：山田（婦中図書館） 】